

- 地域の宅地化、商工業地化が急速に進展し、豪雨時における洪水到達時間の短縮及び洪水時のピーク流出量の増加に伴う溢水氾濫により農地や住宅地等の湛水被害が発生
- 造成後50年を経過し、老朽化が進行した水路の改修を行うことで、流下能力を向上させ、湛水被害を未然に防止し、都市近郊農業の経営安定化を図る

【整備前】

豪雨の度に水路から溢水し、周辺農地や公共施設への湛水被害が発生。



老朽化した水門



豪雨により溢水



冠水している主要道路



おにやなぎ
鬼柳地区

神奈川県

基盤整備

【整備後】

水路の改修に併せ、流下能力の向上が図られたことにより、豪雨時の湛水による被害を未然に防ぎ、地域の安全を確保。



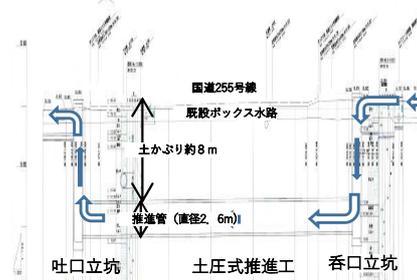
取水門の更新



排水路の断面拡幅



排水路の複線化による機能強化(主要道路の冠水防止に貢献)



<事業の効果>

湛水被害の未然防止と地域への貢献

地域における避難経路の確保

- 豪雨時においても緊急輸送道路に指定された主要道路が冠水することなく、合理的な避難経路の確保が実現。

- 水路の改修により、高い防災・減災効果が発揮され、収穫期の農産物の被害を防止し、県民生活や物流経路の安全性を確保。
- 計画的に事業を実施し、早期に事業効果を発現することにより、被害を未然に防ぐことが可能



冠水による避難経路の喪失



避難経路の確保が実現

